



2016-17 年度テーマ

人類に  
奉仕する  
ロータリー

■会長	竹葉 良仁	■職業奉仕委員長	茂呂 博光
■幹事	竹田 米廣	■社会奉仕委員長	高瀬 一也
■S A A	有田 裕彦	■国際奉仕委員長	保田 孝司
■クラブ奉仕委員長	田淵 満博	■青少年奉仕委員長	吉田 侑希

■例会日：毎週木曜日 12:30~13:30	■事務所	〒788-0003
■例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル		高知県宿毛市幸町 6-43
URL <a href="http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/">http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/</a>		TEL 0880-63-3416
E-Mail <a href="mailto:sukumorc@mb.gallery.ne.jp">sukumorc@mb.gallery.ne.jp</a>		FAX 0880-63-3417

## 3クラブ合同例会報告 第2537回 平成28年10月25日(火曜日) 天気：晴れ

- 例会司会：杉内S A A (四万十RC)
- 開会点鐘：門田会長 (四万十RC)
- Rソング：国家・奉仕の理想
- お客様：米山奨学生 吳 琇賢(オ スヒョン)様  
韓国出身[高知大学大学院生]  
カウンセラー 山崎 啓輔様(高知西RC)

## 四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

## 米山奨学生の卓話

四万十・中村・宿毛 3RC合同例会

主催クラブ：四万十RC

例会日：平成28年10月25日(火)  
時間：12時30分~13時30分  
会場：中村プリンスホテル 2Fホール

司会：杉内S A A  
会長点鐘：門田四万十RC会長  
会長挨拶：門田四万十RC会長  
幹事報告：岡本四万十RC幹事  
プログラム：岡本四万十RC米山委員長

## ■山崎 啓輔カウンセラー(高知西RC)

6年前ガバナー補佐として皆様のクラブに3回程訪問致しました。高知県日韓親善協会の会長を20数年勤めている関係でカウンセラーをしています。

スヒョンさんの出身は韓国木浦(モッポ)は、韓国の最西南端に位置します。木浦の母と言われている田内千鶴子さんのひ孫にあたります。

田内千鶴子さんは高知市で生まれ1938年日本統治時代の朝鮮の全羅南道木浦市で尹致浩と結婚。夫と共に、孤児救済のために共生園で働き朝鮮戦争で夫が行方不明になった後も孤児救済のために尽くし3千人の孤児を守り育てました。

1965年韓国文化勲章国民賞を受賞し1968年に木浦市で死去しました。現在共生園は長男の田内基氏が園長をしています。

田内さんの生涯は『愛の黙示録』という題名で日韓合作で映画化されていますので機会があれば見て下さい。

## ■卓話 米山奨学生 吳 琇賢(オ スヒョン)様

皆さんこんにちは。私は高知西RC奨学生のオ・スヒョンと申します。本日のテーマは「曾祖母の故郷 高知に留学して」です。資料に沿って発表したいと思います。宜しくお願いします。

私は韓国木浦出身です。国立木浦大学を卒業して現在は高知大学大学院総合人間自然科学研究科人文社会科学専攻に在籍です。専攻は社会福祉です。

現在研究しているテーマは「韓国における学生ボランティア」。木浦は高知県でも結構知られている所ですが位置がわからないと思いますので地図を見て下さい。

高松空港からソウルまで約1時間30分。ソウルから新幹線で約2時間30分かかります。

少し遠く感じますが皆さん木浦まで来て下さい。私が高知に来て良く聞かれるのは、なぜ高知大学なの東京の方がもっと良い大学が一杯あるのではないかとよく聞かれますが、私は二つの理由を上げます。一番目は曾祖母の故郷だった事。二番目は人と地域を高知は大切にすることです。

先程も紹介がありましたが私の曾祖母は、高知市若松出身で田内千鶴子です。韓国で3千人の戦争孤児を育て木浦の母と呼ばれる人です。

私も将来社会福祉士になりたいと思っていますので私の曾祖母は先輩にもなります。

先輩の故郷で足元を整えることが出来たらいいなと思って来ることになりました。

二番目の人と地域をたいせつにする事は、特に高知大学では、2015年に地域協働学部が国内で初めての学部が出来ました。ここでは地域を良く知り、問題が発生した場合に解決できる人材を育成しています。

韓国と日本の事をよく見れば日本の今の様子が10年後に必ず来ます。そういう環境が似ているので今私が日本で社会福祉を勉強すれば10年後の韓国に必要になります。それを信じて今勉強をしている所です。

私は大学を卒業して1年間の準備期間がありました。韓国の社会福祉士の国家試験を受けJ L P T日本語能力試験を受けてから日本に来ることになりました。

将来もちろん社会福祉士になりたいのですが、色々な所で働くことが出来るので今考えている所ですが、あまり悩まずに楽しみながら勉強して充実しています。

私が今高知に居られる事は先祖があつての事だと思っていますので、少し家族の事も紹介します。

曾祖母の田内千鶴子は、母の家族です。

4人の子供がいて全員田内千鶴子の精神を引き継いで社会福祉の道を歩んでいます。私の祖母は、長女にあたります。

田内千鶴子の遺産であり3千人の孤児を育てた木浦共生園。現在は幼稚園から大学生まで67人の子供達が住んでいます。

当時は戦争孤児が多かったのですが、最近は両親の離婚や経済的な問題で来ている子供達が多いです。

精神的な問題も抱えています。

現在共生園を運営しているのは、田内千鶴子の孫、鄭愛羅(チョン・エラ)です。鄭愛羅(チョン・エラ)は長女の二番目の娘になり、私の母です。

私の母の兄妹も皆社会福祉関係の仕事をしています。障害者、老人、海外養子の為の福祉関係や青少年の自

殺予防などの仕事をしています。

このように私たちの家族は様々な地域で社会福祉の仕事をしていますが、これを田内千鶴子共生福祉財団と位置付けています。

2017年は財団が田内千鶴子の遺言であり世界に孤児がいない世界を作るために活動をしています。

1995年に高知県の人々の応援と支援があり田内千鶴子の生涯を映画化した「愛の黙示録」が完成しました。

97年には五台山の記念碑が完成しました。

98年以降毎年誕生日の10月31日には献花式が行われています。

2016年には高知県と羅南道（チョルナムド）が姉妹協定を締結することになっています。

ここまで来るには、政治的・教育的・文化的など多様な分野で交流があったからこそ出来ました。政治的な事では今年羅南道の知事が高知県を訪問しました。高知県の友好代表団も羅南道に訪問をしました。

教育では、木浦大学の先生達が高知大学に訪問し視察をしました。

今年は中韓大使館主催の文化の交流があり「愛の黙示録」の上映もありました。

私が高知で活動している事は、街頭通訳と家庭裁判所の青少年ボランティア活動、一番力を入れている日韓交流に関する活動。

一年半の高知での生活で日韓交流は、一人一人の出会いが一番大切であることに気づきました。

高知西RCでマイクロネシアの講師の方と出逢い、韓国と高知の架け橋になって下さいとの言葉を頂き力になりました。10月31日の田内千鶴子の献花式への出席も大変うれしく思います。

高知県内の学校を訪問して田内千鶴子や韓国の文化についても講演をしています。

これで私の発表が終わります。ありがとうございました。

## ■謝辞

### 宿毛RC 竹葉会長

本日は米山奨学生オ・スヒョンさん、山崎カウンセラーありがとうございました。

オ・スヒョンさんのお話をもっとお聞きしたいと思いますが、高知と木浦の繋がりはすごく歴史があり、この架け橋をもっと大きく、もっと丈夫な架け橋になるように日本と韓国が共に素晴らしい未来の為に青少年の育成の為に活躍をして頂きたいと思います。

本日はありがとうございました。

### 中村RC 大杉会長

オ・スヒョンさん、山崎カウンセラー、本日はお忙しい中遠路三クラブ合同例会に来て頂きありがとうございました。田内千鶴子さんのお話大変感心しました。これからも田内千鶴子さんのひ孫のオ・スヒョンさんの日本と韓国での活躍を期待しています。本日はありがとうございました。

■バナー贈呈 : 中村・宿毛・四万十RC

■謝礼贈呈 : 門田会長（四万十RC）

■ニコニコ報告 :

■出席報告 : 宿毛RC 50.0%

